

平成30年度行政事業レビューシート (警察庁)										
事業名	自動車ナンバー自動読取装置の整備			担当部局	情報通信局			作成責任者		
事業開始年度	昭和61年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	通信施設課			通信施設課長 砂田 務		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程以内)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙する。									
事業概要 (5行程以内。別添可)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取装置を整備する。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求			
		補正予算	1,222	3,252	3,384					
		前年度から繰越し	-	1,053	3,212	2,906				
		翌年度へ繰越し	▲ 1,053	▲ 3,212	▲ 2,906					
		予備費等	▲ 35	230	53					
		計	239	1,364	3,750	3,053	777			
	執行額	56	1,273	2,363						
	執行率 (%)	23%	93%	63%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	4%	39%	70%						
	平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
警察通信機器整備費		85	760	更新整備箇所の増加に伴う経費の増						
警察通信維持費		62	17	「新しい日本のための優先課題推進枠」 714						
計		147	777							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するための自動車ナンバー自動読取装置の整備	累積整備数	成果実績	累積整備数	1,511	1,511	1,511	-	-		
		目標値	累積整備数	1,511	1,511	1,511	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	捜査支援分析管理官調べ									
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込			
	年間整備数(増強)	活動実績	年間整備数(増強)	0	0	0	0	-		
		当初見込み	年間整備数(増強)	0	0	0	0	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込			
	年間整備数(更新)	活動実績	年間整備数(更新)	7	2	148	-	-		
		当初見込み	年間整備数(更新)	7	2	148	252	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込			
	年間整備数(撤去)	活動実績	年間整備数(撤去)	0	0	0	0	-		
		当初見込み	年間整備数(撤去)	0	0	0	0	-		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込				
	事業費総額/年間整備数(更新・増強・撤去)	単位当たりコスト	千円	7,945	636,723	15,967	12,114			
		計算式	事業費/整備数	55,613千円/7	1,273,445千円/2	2,363,141千円/148	3,052,838千円/252			

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	2 犯罪捜査の的確な推進								
	施策	1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上								
	測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 30 年度	
		各重要犯罪(注1)の検挙率(注2) (注1) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ (注2) 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	73.2	76.7	82	-	-	
		目標値	%	65.1	67	69.6	-	73.2		
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取システムを活用することにより、手配車両の早期発見、自動車盗等の重要窃盗犯や自動車利用の重要犯罪が発生した際の被疑者の早期検挙を図ることが可能となり、重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上に寄与する。										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	自動車ナンバー自動読取装置は、自動車盗や自動車を利用した犯罪の検挙に極めて効果的な装置であり、公共の安全と秩序を維持するための警察活動を行う上で、国民や社会のニーズを的確に反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	警察通信施設の維持管理その他警察通信に要する経費は、警察法第37条第1項第3号及び警察法施行令第2条第3号により国庫が支弁することとなり、国が実施すべき事業として適切なものである。					
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	警察の責務である公共の安全と秩序の維持のために自動車ナンバー自動読取装置を整備することは、必要かつ適切な事業である。					
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	指名競争契約を行うなど、法令に基づく手続きに従って契約しており、支出先の選定は妥当なものである。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	警察通信施設の維持管理その他警察通信に要する経費は、警察法第37条第1項第3号及び警察法施行令第2条第3号により国庫が支弁することとなり、国が実施すべき事業として妥当なものである。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、単位当たりコストの水準は妥当なものである。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	執行額全額について、自動車ナンバー自動読取装置の整備のために支出されていることから、真に必要なものに限定されている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	指名競争契約等による契約差金が生じたものであり、妥当である。					
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	繰越額は全額、本事業を適正に実施するにあたり必要となるため妥当である。					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	警察活動に必要な自動車ナンバー自動読取装置を整備しており、警察活動をより迅速・的確に行うことが可能となるなど、成果目標に見合ったものである。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、最小限のコストで実施している。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績の当初見込みに見合った更新整備を実施している。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	警察活動に十分に活用されている。					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-					
	所管府省名	事業番号	事業名							
点検	点検結果	通信機器の調達契約については、警察庁で一括調達することで適正性を確保している。また、機器設置工事費等については、地方機関に予算配賦して執行しており、地方機関から執行状況の報告を受け、適切性を確保している。								

改善結果

改善の方向性

自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。
予算要求に際して、契約実績額、市場調査に基づく金額及び内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状

引き続き、契約実績及び市場調査に基づく金額の精査、仕様の見直し・点検や競争性を高める検討を行い、予算額の削減に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通

自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、本事業は継続して実施する必要がある。引き続き、契約実績及び市場調査に基づく金額の精査、仕様の見直し・点検や競争性を確保するための見直しを推進し、予算額の縮減に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	当初8-5、補正3-3	平成23年度	52	平成24年度	37	平成25年度	10
平成26年度	40	平成27年度	30	平成28年度	31		
平成29年度	警察庁 (0032)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
2, 363百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な資機材等を直接購入し、地方機関に配備するとともに、各管区等に機器設置工事費等必要な予算を配賦

<物品購入等>
【指名競争契約
(最低価格)・随意契約(その他)】

A. 民間会社
(2者)
1, 294百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な物品の納入

【予算配賦】

B. 管区警察局等情報通信部

東京都警察
情報通信部
413百万円

各管区警察局等
(7機関)
656百万円

<工事費>
【一般競争契約(最低価格)】

C. 民間会社
(1者)
413百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な工事を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

